

事業所名		萩原さくらんぼ教室				支援プログラム				作成日		R7	年	1	月		日		
法人（事業所）理念		あそびで育てる　こころとからだとことば																	
支援方針		・ 発達の段階を踏まえてスモールステップで支援を行います。 ・ 常に関係者と連携をとり保護者が安心できるように家族支援をします。																	
営業時間			8	時	30	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無		あり					なし	
		支　援　内　容																	
本人支援	健康・生活	・ 健康状態の維持や改善、基本的生活のスキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。（睡眠・食事・排泄・着脱・準備、片付け等の方法を支援します） ・ あそびの中や日常生活を利用した支援、環境配慮を工夫します。																	
	運動・感覚	・ あそびの中で運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な感覚・感触に触れ、運動の成長を支援します。 ・ 体の感覚の成長を支援することで、体の動きをコントロールするだけではなく、気持ちやテンションのコントロールができるよう、支援の仕方を工夫します。																	
	認知・行動	・ 五感（視覚、聴覚、触覚等）を活用し、必要な情報を収集する認知機能の発達を促す支援を行います。 ・ 物の機能や属性、形、色、音の変化、大小、数、空間、時間等の概念から認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。 ・ 一人ひとりの特性を理解し「楽しい」「やってよかった」と感じられる関わりを行い、適切行動への対応の支援を行います。																	
	言語 コミュニケーション	・ 【聞く】「話す」というコミュニケーションの基盤を作ります。自分の発言が相手に受け止められる、相手の言うことに応じて行動したりすると相手が反応・対応してくれるという経験を通じて、コミュニケーションの楽しさを感じられるように支援します。 ・ 音声言語によるコミュニケーションにこだわらず、お子さんの特徴やニーズに応じて、絵カードや身振り、指差し、ジェスチャーなどを使った手段を活用します。																	
	人間関係 社会性	・ 身近な大人との1対1での関わりを基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 ・ 誰かと同じ空間で過ごす機会を作ることで、順番やルールを守ることといった、相手との折り合いをつけながら、人との関わり方や集団への参加などの社会性が習得できるよう支援を行います。																	
家族支援		家族からの相談に対する助言や子育ての環境の整備等、安心して子育てが行えるよう支援をします。子育てについての情報交流ができるよう保護者向けの勉強会、交流会や親子で集う会を行っています。								移行支援		園や学校との連携（援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達等）を行い、途切れのない支援を行います。発達状況に合わせて、医療（訓練等）をご紹介します。							
地域支援・地域連携		・ 地域の保健・医療あるいはこども園・学校等との連携を図り、総合的な発達の支援を行います。 ・ 園訪問、市教育委員会との連携、学校への引き継ぎ等、必要に応じた情報共有を行います。								職員の質の向上		定期的な研修会への参加や他事業所との連携、公開療育研修会を開催することで多くの事例に触れる機会を設けています。その中で意見交流をしながら、職員一人ひとりの知識や技術の向上を目指しています。							
主な行事等		（市全体）・統合保育研修・さくらんぼの集い・保護者交流会・療育システム支援事業・公開療育研修会・さくらんぼ教室担当者会議 （各事業所にて）・全員集合日・保護者の集い・お別れ会																	